

下條村低温貯蔵庫

祝 下條低温貯蔵庫 竣工



低温貯蔵庫竣工式



議会だより

第2回定例会	2~4ページ
一般質問	5~7ページ
低温貯蔵庫竣工式	8ページ
阿南高校公設学習塾	8ページ
全国正副議長研修会	9ページ

南部地区議員会評議員会	9ページ
信大新学部誘致	10ページ
小学校音楽交流会	10ページ
親田区敬老会	11ページ
議長コラム・編集後記	12ページ

第2回 下條村議会定例会

会期 6月10日から6月17日まで

- 下條村低温貯蔵庫設置条例を可決。
- 原油価格・物価高騰への対応への補正予算(第2号)を可決。
- 義務教育関連等、請願書3件、陳情書1件を採択

令和4年第2回定例会は、6月10日に召集され、17日までの8日間の会期で行われました。報告が5件、専決処分承認が5件、条例の制定が1件、条例の改正が1件、補正予算3件、請願書3件、陳情書1件、意見書の発議4件が提出され審議の結果、提出されたすべてを承認/可決し閉会しました。

▼一般質問は、議員6名より

初日に行われた一般質問はP5以降に詳細が掲載されています。

▼報告

○令和3年度低温貯蔵庫新築工事請負契約の変更に係る報告について

令和3年10月14日の臨時議会で請負契約の締結承認を受けた下條村低温貯蔵庫新築工事請負契約について、地方自治法第180条第1項の規定により契約額の変更と工期延長の変更契約を締結したもので、同条第2項により報告されました。変更内容は、当初契約額8,305万円を1,097万円8千円増の9,402万8千円に、工期についても竣工日

を令和4年3月25日から同年5月31日に変更したものです。

○繰越明許費(一般会計)の報告について

地方自治法施行令第146条第2項の規定により、令和3年度下條村一般会計の繰越明許費について計算書を報告しました。

上野原配水池緊急遮断弁設置事業、低温貯蔵庫新築工事など17事業をそれぞれ繰越事業となります。

○事故繰越費の報告について

令和2年度一般会計繰越明許費の農業用施設災害復旧事業において、復旧工事が完了とならなかったため、地方自治法第220条並びに地方自治法施行令第150条第3項の規定により報告されま

した。事故繰越額は1,456万1千円を以て、復旧工事は本年5月31日に完了したものです。

○繰越明許費(下條村国民健康保険特別会計)の報告について

地方自治法施行令第146条第2項の規定により、令和3年度下條村国民健康保険特別会計の繰越明許費について計算書を報告しました。

国保事務処理標準システム改修の1事業を繰越しました。

○繰越明許費(下條村営水道特別会計)の報告について

地方自治法施行令第146条第2項の規定により、令和3年度下條村営水道特別会計の繰越明許費について計算書を報告しました。

粒良脇トンネル開通に伴う水道管移設工事の1事業を繰越しました。

▼条例の制定

○下條村低温貯蔵庫設置条例の制定

・そば乾燥調製所に隣接して建設された下條村低温貯蔵庫の新築に伴い、設置条例が制定された。建物は、鉄骨造り平屋建て、床面積は280㎡、屋内に冷蔵貯蔵施設3基を配備しており、今後、信州の伝統野菜である「親田辛味大根」、「下條にんにく」をはじめ「そば」や「果樹」といった農産物の品質保持に活用される。審議の結果、原案どおり承認した。

▼条例の一部改正

○下條村税条例の一部を改正する条例について(専決処分)

主な改正は、法律の改正に伴う納税証明書の記載内容の改正、所得税割・配当割額又は株式等譲渡所得割額の控除等確定申告書記載内容の変更、固定資産税の閲覧、台帳に記載されている事項証明書等の改正などで、令和4年4月1日付けで専決改正したものを承認しました。

○下條村国民健康保険

税条例の一部を改正する条例について(専決処分)

・今回の改正は、課税限度額63万円を65万円に、また国民健康保険税の減額の課税限度額を19万円から20万円に引き上げる改正で令和4年4月1日付けで専決改正したものを承認しました。

○下條村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について(専決処分)

改正内容は、「消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律」の一部改正されたもので、年金担保貸付事業の廃止が規定された改正で、令和4年4月1日付けで専決改正したものを承認しました。

○下條村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

・国保運営協議会の答申に基づき、税率を医療分、後期高齢者支援分、介護納付分をそれぞれ引き上げ、国保税ひとり当たり0.57%の増とした。

▼補正予算

○令和3年度一般会計(第11号補正)(専決処分)《1000万円を減額》

総額34億8,800万円に

【歳入の主なもの】

村税では村たばこ税が79万2千円の増、地方特例交付金では新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金が1,753万3千円の増、諸収入ではリニア残土埋立予定地の調査・測量業務負担金を1,932万5千円の減としました。

【歳出の主なもの】

基金積立額の精査により、基金積立額を14万9千円の増、予備費を114万9千円の減とした。繰越明許費では、14事業を次年度へ繰り越す内容で、事前にその内容の詳細を各課課長より説明を受けたうえで専決処分を承認しました。

○令和3年度下條村営水道特別会計(第3号

補正)(繰越明許費の専決処分の承認)

・粒良脇トンネル開通に伴う国道排水溝への影響を考慮した設計変更及び資材納品の遅延のため、予算額1,431万円を繰り越す必要が生じたことにより、3月31日において専決処分を行い、下條村簡易水道費の「水道管移設事業」1、431万円を繰越明許に追加した。事前にその内容の詳細を振興課長より説明を受けたうえで専決処分を承認しました。

○令和4年度一般会計(第1号補正)

《1億5,500万円を増額》

総額30億2,500万円に

【歳入の主なもの】

地方交付税では、普通交付税5,249万1千円の増、国庫支出金では新型コロナワクチン接種国庫負担金693万円の増、デジタル田園都市国家構想推進交付金1,842万9千円の増、

【歳入の主なもの】

子育て世帯生活支援特別給付金事業費補助金340万円の増、基金繰入金では財政調整基金5,000万円、森林環境整備基金180万円等を計上した。

【歳出の主なもの】

新型コロナウイルス感染症関連と物価高騰対策事業として、村出身学生へお盆と年末に現物支給するふるさとのお届け作戦として100万円を、村出身学生への支援として一人5万円又は10万円を支給する学生生活応援給付金900万円を、物価高騰対策生活応援商品券を一人1万円の支給関係に3、713万3千円を、水道料金減免のための繰出金1,100万円などを計上、事前にその内容の詳細を各課課長より説明を受けたうえで審議に臨み、原案どおり可決しました。

○令和4年度一般会計(第2号補正)

《1,900万円を増額》

総額30億4,400万円に

【歳入の主なもの】

地方交付税を900万円、基金繰入金として、財政調整基金の取り崩し1,000万円をそれぞれ計上した。

【歳出の主なもの】

原油価格・物価高騰への対応として、肥料価格高騰緊急対策支援事業として400万円を、燃料等価格高騰対策給付金農業者分360万円、飼料価格高騰対策支援事業125万円、村内事業者燃料等価格高騰対策給付金商工業者分として860円などを計上、事前にその内容の詳細を各課課長より説明を受けたうえで審議に臨み、原案どおり可決しました。

○令和4年度下條村営水道特別会計(第1号補正)

《40万円を増額》

総額8,440万円に

【請願】

「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書」採択を求める請願書について、「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書」採択を求める請願書について、「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書

【採択】

総務文教委員会に付託、委員会内で採択、本会議でも全員賛成で「採択」

【陳情】

水田活用の直接支払交付金見直しを中止し、継続させ農家経営の支援強化を求める陳情書

【議員発議】

「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書」

【可決】

「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書」

【可決】

「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書

【可決】

水田活用の直接支払交付金見直しを中止し、継続させ農家経営の支援強化を求める意見書

里山整備を進めるための支援事業について

Q 道路環境整備で伐採した支障木や、集落や農地に近い森林や竹林を伐採した木や竹をチップにするチップパーの機械を村が購入し、個人や区・自治会に貸し出したらどうか。

A 多くの地域で「道路環境整備事業」を実施し環境整備を行っていただき感謝します。ご質問の伐木等を粉碎する機械(チップパー)については、年度内を目途に導入をして参ります。貸出しに関する規約の整備は導入までに作成します。

Q 里山整備を進めるために景観指針と合わせて、個人や区・自治会等で整備作業をする場合にかかる経費の村単独補助金制度の策定をしたらどうか。

A 村民の皆さんが自主的に携わる事ができる範囲を基本とし地域の特性を活かした「小綺麗な村づくり」を目指していきます。現在役場内の関係部署で景観指針を進めていくためのプロジェクトチームを立ち上げ、第一回目の会議を持ったところです。今後事業支援制度の創設を含め内部で検討し、景観指針策定委員会に諮り進めていきます。



申原 稔博 議員



村の文化財 合原地区農村歌舞伎舞台の保存について



福澤 利尚 議員

Q 村で唯一の歌舞伎舞台の原型を残しており村としても文化財としても貴重な財産です。今後保存して行くための支援を検討していただきたいと希望します。

A 今後の見通しですが本舞台の所有者は敷地建物共に皇太神宮のため改修するには神社庁と合原区において賃借契約を結ぶ必要があること。又改修後の活用と維持管理等ありますので合原区、歌舞伎保存会、文化財調査委員会など協議を行い前向きに検討してまいります。



合原の歌舞伎舞台

令和4年度 新型コロナウイルス対策・物価高騰対策

第1号補正及び第2号補正の中から、新型コロナウイルス対策、物価高騰対策に係わる事業をピックアップ

支援別	事業名等	内容
村民・企業支援	物価高騰対策生活支援商品券	9月1日時点の全村民に対し、一人当たり1万円分の商品券で10月1日からご利用でき、9月下旬に発送いたします。
	水道基本料金全額村負担	村営水道加入全世帯対象に、7月分から12月分までの水道基本料金1,300円を減免します。
	抗原検査キット	1000個を追加で購入。水際対策のための簡易検査キット・無料配布に使用します。
企業・事業者支援	村内事業者燃料等価格高騰対策支援	7月1日から12月31日までに納品となる事業用燃料等10万円以上の購入費の10%(上限、10万円)を補助します。法人、商工業者、青色申告農業者・認定農業者が対象です。
農業支援	肥料価格高騰緊急対策支援	7月1日から12月31日までに納品となる農業用肥料2万円以上の購入費の25%(上限10万円)を補助します。青色申告農業者・認定農業者が対象です。
	畜産経営継続支援飼料価格高騰緊急対策支援	7月1日時点の飼育頭数を基礎とて、家畜経営者の飼料代を補助します。
学生	学生生活応援給付金	村出身の学生(大学生・短大生・専門学校生等)を対象に給付金を支給します。在学先が飯伊管内の学生は5万円、在学先が管外の学生は10万円が上限となります。
	学生へのふるさとの味お届け作戦	村出身で自宅を離れて暮らす学生を対象に、年2回(現時点では9月と年末を予定)下條村の特産品をお届けします。

一般質問 (6月)

議会ペーパーレス化の取り組みについて

Q 議会改革を2年前から取り組んでいる中で、全体議員会においてタブレット端末導入について検討されました。近隣市町村では喬木村を筆頭に飯田市、高森町、天龍村等で取り組んでいる状況です。またコロナ感染が収まらない中、議員活動維持・継続の観点から、Web会議・オンライン会議の開催に向け、タブレット端末の導入が必要ではないかと思われる。また議会等開催に伴い会議のペーパーレス化については、メリットとして・印刷に関する経費の節減・人件費の節減・通信費の削減等が考えられます。また使用する議員のメリットですが、議案書・予算決算書・通知文等情報取得の迅速化・共有化が図られます。さらに危機管理体制において、端末利用により災害情報・安否情報などの共有化が図られます。以上導入について考えをお聞かせください。



申原 肇 議員

A 近年地方議会でもタブレット端末を導入する自治外が増えていて、昨年7月1日現在県下の町村では9町村が導入済みです。タブレット端末導入のメリットとしては、①様々なコスト削減につながる。②資料の修正や差し替えが簡単にできる。③資料をいつでも見ることができる。④議員への情報提供を同時に素早くできる。等上げられます。一方デメリットとして、①操作に不慣れな方へのサポートが必要。②メモが取りにくい等があるかと思われます。今回の提案については前向きに検討してまいりたい。導入に際しての検討課題も多くあり、議会からの要望を聞くなかで、予算化して行きたいと考えている。



デジタル防災行政無線について

Q 平成21年に設置されてから13年程での大規模更新は予定通りか、工事内容や計画は、更新により難聴地域の解消はできるか。

A 施設の老朽化により更新を検討した。緊急防災減災事業債の活用が可能で有り、本年度と来年度で3億5千万円で全面更新整備する耐用年数は10年とされている。設置が適当か調査した結果をもとに、放送が聞こえづらい場所には伝達距離が遠く、より鮮明に聞こえるスピーカーへの変更も計画する。これにより難聴地域は、ほぼ解消される計画である。

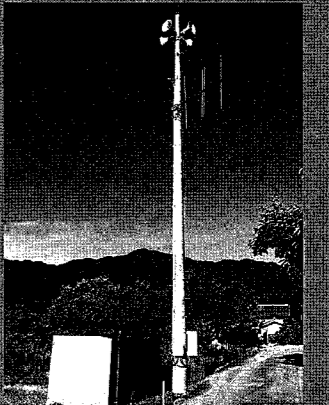


申原 寛治 議員

商品券発行について

Q 異常な物価高が続いている。長期化や、さらに値上げの報道もある。秋に発効を計画しているプレミアム商品券を、生活応援商品券に変え支給し、テイクアウト商品券支給も検討すべきでないか。

A 一人1万円分の物価高騰対策生活応援商品券を10月から使えるように配布する。テイクアウトなどにも有効に活用して欲しい。



国道151号における交通安全対策について



田中 兼次 議員

Q 国道151号における下條村内での交通事故の多発原因についてどの様な見解を持っているか。

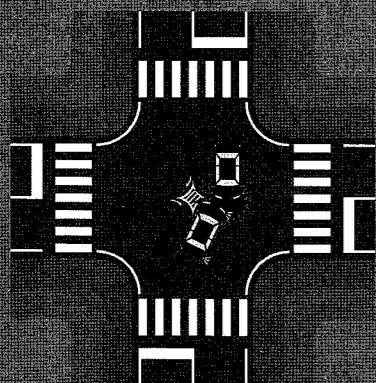
A 令和元年から本年5月11日迄の3年4カ月で国道151号阿南署管内事故件数は34件、内24件(70%)が村内で起きている。原因では前方不注意、スリップ、安全不確認、居眠り等の人的要因が主である。国道151号は生活道路、観光道路として重要であり、速度超過や横断歩道付近の追突抑止など関係機関と共に注意喚起の呼び掛け強化をしていきたい。

Q 事故の多い箇所へ注意喚起する具体的な対策が必要では。

A 国や県が持っている資料を活用した減速帯設置や要注意箇所への看板設置、事故多発箇所のマップ配布など事故防止に効果的な対策を検討し要望していく。

Q ガードレールや信号機等の施設整備の進捗状況は。

A 粒良脇地籍の歩道へのガードレール設置はこの夏から着手する。そばの城上交差点への信号機の設置、白又橋の拡幅は県、関係機関へ強く要望していく。



子育て・保育を充実させるために



丸山 浩子 議員

Q 未満時が多く入園した本年、余裕ある保育のために、保育士の増員はできないか。

A 年長児24人に保育士2名、年中児20人に2名(1名はフリー)、年少児21人に4名、2歳児20人に4人、1歳児12人に3名配置。国の基準を上回る保育を提供しているが、1・2歳児のニーズが高まっているので、手厚い保育のために、保育士の増員が必要と考えられる。検討する。

Q 子育てネットワークを見直し18歳までの村の子どもを育ちを見守る体制を作ること、相談者の迅速な対応のために核となる担当者を置くことはどうか。

A 子ども子育て支援法に基づく計画を柱として諸施策を推進している。核となる担当者を置くことは業務量が多くなるので困難。どこへ相談しても、主担当部署につなぎ、必要な情報は共有し、連携して対応するよう努めている。「つどいの広場」で外部講師を招いた子育て相談を毎月行っている。周知、広報をしていく。



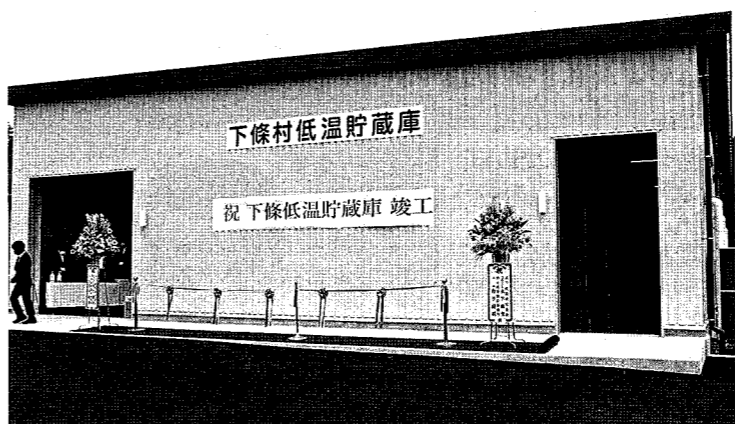
一般質問 (6月)

一般質問 (6月)

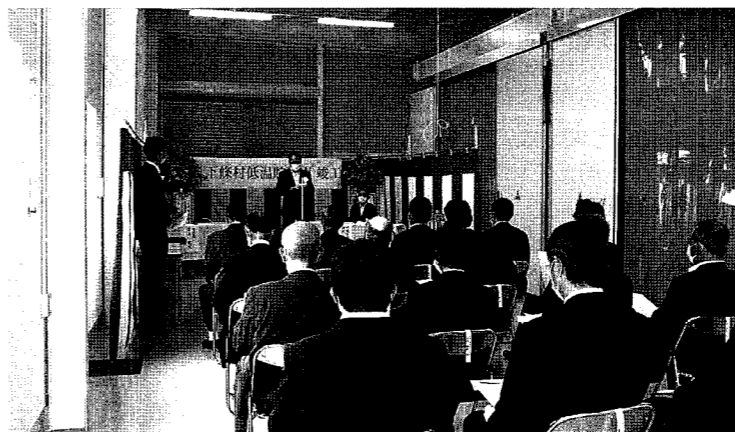
下條村低温貯蔵庫完成

低温貯蔵庫が5月31日竣工し、竣工式が6月11日に、施工業者、生産者組合が参加して行われました。村特産の親田辛味大根や下條にんにくのブランド化を目指す中で大事な施設になると思われ

ます。ブランド化や販路拡大への課題の、鮮



低温貯蔵庫外観



竣工式典の様子

度、品質の維持、長期保存などのできる施設があればと生産組合などの話がある中、村では令和2年度に事業を計画し、昨年10月に建設を始め今年5月末に鉄骨平屋建てで延床面積280平方メートル、室内に3台の冷蔵庫を設置し、冷蔵庫の内部にはグリーンキ

パーを設置、3台の冷蔵庫はマイナス2度から15度までの温度調節ができ、総事業費9732万円の建物が完成しました。この建物で長期保存を生かした特産品や村の農産物のブランド化、販路拡大などを目指して7月より稼働します。(竹村宗次)

阿南高校生対象の公設学習塾開設される

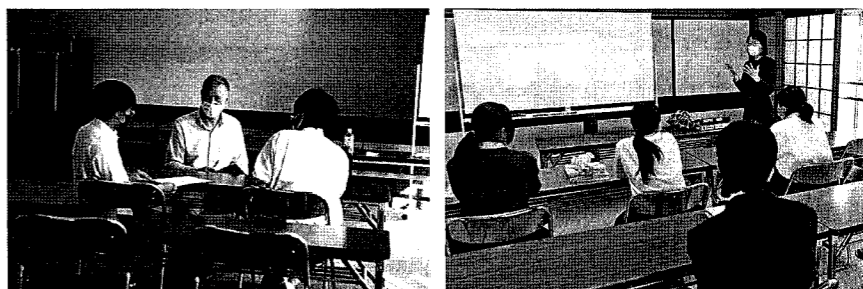
阿南高校は昭和25年の開校以来、南部5カ町村はもとより飯田市からも多くの生徒が集う地域高校として「郷土に根差し地域から信頼される学校づくり」を掲げ今年で創立73年目となります。

この10年は少子化の影響など定員割れが続き、俄かに学校の存続が憂慮される状況となっていました。地域の大切な教育機関としての阿南高校を後世に繋げていく為、阿南高校協力は同窓会



開講式の様子

と共に学校と連携しながら「魅力ある高校づくり」に取り組むなかで、昨年8月から公設塾設置について具体的な検討がなされ、必要なプロセスを経てこの5月末、阿南高生の進学支援として公設学習塾「南宮塾」が北条会館



で開講の運びと成りました。開講式には47名の生徒参加があったとの事です。学校に近い利便性を活かして多くの生徒が活用し進路実現を目指して頂きたいと切に願います。(田中兼次)

令和4年度町村議会議長・副議長研修会に参加して

正副議長会研修会が、5月30日、東京国際フォーラムにおいて開催されました。当日は南部5町村の正副議長10名と、当番村であります売木村のマイク

「町村議会のあるべき姿」東大森先生、

「町村議会議員報酬について」大正大江藤先生、「地方議会とハラスメント」上智大三浦先生の3氏による講演を聞きました。その中特に重要だと思った江藤先生の講演について報告いたします。

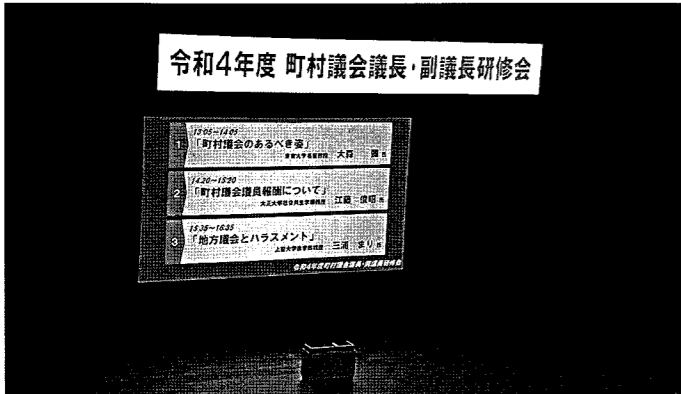
議員報酬をめぐる議論は、議員のなり手不足、問題の深刻化から、減額・停滞から脱却し、大きく変わりつつある。

「町村議会議員報酬について」大正大江藤先生、「地方議会とハラスメント」上智大三浦先生の3氏による講演を聞きました。

られている。議員のなり手不足については、選挙の有無だけでなく、住民自治にとって大きな問題となっている。なり手不足解消は、一朝一夕には達成できない。住民と歩む議会は立候補者の掘り起こしにも役立つっている。住民が参加する福島県会津若松市の議会検討委員会や長野県飯綱町議会の政策サポーター、議会だよりモニターは有効である。

後継者を議員個人に任せるだけでなく、議会として取り組む事が重要である。危機的状況だからこそ、住民議員、首長等の総力戦が不可欠であり、それを創出する場が、フォーラムとしての議会である。

報酬の算定方式は、①成果方式、②類似方式、③原価方式、④新たな原価方式がある。近年新たな原価方式として議員と、その長との活動量を比較して算定する方法が考え



令和4年度 町村議会議長・副議長研修会

る。報告は、議員のなり手不足、問題の深刻化から、減額・停滞から脱却し、大きく変わりつつある。

報酬の算定方式は、①成果方式、②類似方式、③原価方式、④新たな原価方式がある。近年新たな原価方式として議員と、その長との活動量を比較して算定する方法が考え

(申原 肇)

南部地区議員会評議員会

新型コロナウイルス感染症防止対策の中、阿南町、売木村、天龍村、泰阜村、下條村の5町村の議員による南部地区議員会評議員会が、5月26日(木)売

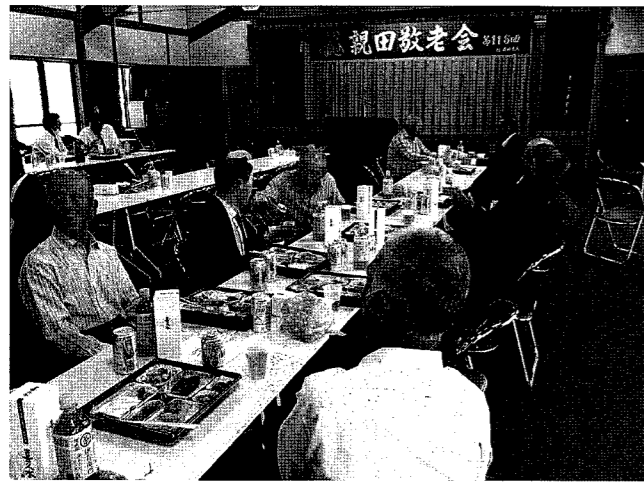
木村文化交流センターぶなの木で開催されました。村からは、正副議長、総務文教委員長、事務局長、事務局書記の5名が出席しました。



令和3年度の南部地区議員会事業経過報告の承認及び歳入歳出決算の認定、令和4年度の南部地区議員会事業計画、歳入歳出予算、町村負担金についてそれぞれ提出され、評議員会で議決されました。

また、令和4年度南部地区議員会定期総会を7月19日(火)に阿南町の阿南文化会館で開催することが決まり、国や県へ要望する提出議題が検討され、提出議題全12議題の中、下條村からは、「地域公共交通対策の推進について」と「南部地域とリニア中央新幹線長野駅駅間のアクセス道路整備促進について」の2題を提出議題といたしました。

(熊谷政孝)



親田区敬老会を開催

今回で106回目を迎える伝統ある親田区敬老会が、5月29日に開催されました。コロナ感染症拡大の為、昨年は節の方のみの参加、一昨年は中止という事でしたので、会員の方を招待して開催されるのは3年ぶりとなります。今回招待した70歳以上の会員数は174名いますが、コ

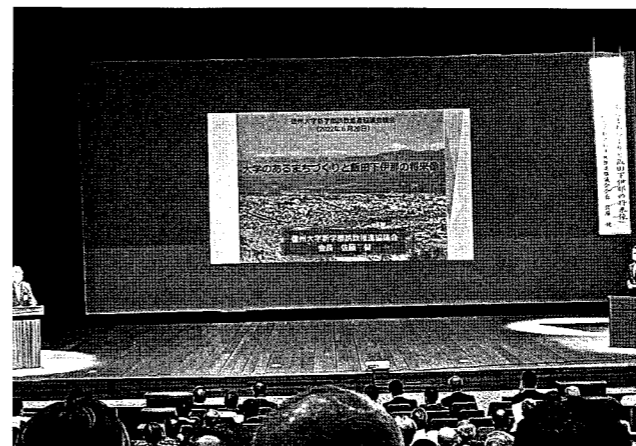
ロナ禍での開催であり今回参加された皆さんは50名足らずでした。従来であれば余興を行い、盛大に開催する訳ですが、今回は式典で、70歳、80歳、90歳、100歳の節の方の記念品贈呈と、希望者による親睦会の開催という内容で行なわれました。コロナ禍で家

会って話もできないという日常が続いている中で、今回の開催に当たっては検温・手指の消毒等感染対策を行なって進められました。村内でも、徐々に地域活動が再開されています。各地区においても感染対策を取り、工夫して地域の活動を少しずつ再開して行きたいものです。
(申原稔博)

信州大学新学部誘致推進協議会の総会に参加

飯田下伊那地域に信州大学の4年制の新学部誘致を目指す推進協議会の総会が、5月20日、飯田文化会館で開催されました。誘致運動は、昨年信州大学が新学部創設構想を発表したことをきっかけに始まり、飯伊地域の自治体や業界団体などが協議会を設立、会員数は個人を合

め1817名となっています。総会では協議会会長の佐藤健飯田市長が「大学のあるまちづくり」と題してプレゼンテーションを行ったほか、若手や女性の経営者、自治会やPTAの代表が意見を発表しました。会場の参加者からも



多くの発言があり、若者が関心をもつようなわかりやすい説明が必要、協議会役員に個人会員も入れるべき、など重要な提案もあり、予定の1時間を30分近くオーバーする熱のこもった総会となりました。下條村議会は団体役員として入会し下伊那郡町村議会議長会、南信州広域連合議会とともに要望活動を進めています。(福沢 敏)

歌よありがとう

小学校音楽交流会だより

6月24日、小学校の体育館には、明るく柔かな歌声が響き渡りました。昨年と違って、全校が一堂に会して、発表し聞き合えたのは幸いです。保護者が我が子の出番のみ入場するというところで、会場が密にならないように気をつけての開催でした。体育館に入ってしまった先に目に飛び込んできたのは、ステージバックの紫陽花、蝸牛の装飾。和やかな落ち着いた雰囲気です。全校合唱「プパポ」で始まりました。きれいなハーモニー、心地よい響き。下條の子は声がいいなと思いました。

1年生の「やぎさんゆうびん」は、歌声が揃っていることに感心しました。今できる精一杯を発表してくれました。2年生の「あの青い空のように」は、伸びのあるいい声。曲の最後をきれいに伸ばしているところがよかったです。3年生は、頭声を無理なく出して、人数ですが、体育館によく響きました。1・2組共、習い始めたリコーダー入りの合唱奏もよく揃っていて気持ちよく聞きました。4年生の早口言葉をラップで歌うのはとても楽しく、リズム感のよい子どもたちにはぴったりの曲でした。5年生の曲「グッバイまた明日ね」の合唱は、言葉をはっきり歌っていて、高低のバランスがいいなあと思いました。6年生「語りあおう」



の合唱、全校を代表しての合奏。めりはりのある演奏で、聴く人も心一つにして聞いていました。花の木の皆さんのリコーダー奏。よく練習してきた様子が偲ばれました。よく揃っていて、順番に演奏するところのリレーが上手に決まり、拍手をいっぱい送りました。コスモスター合唱団の「たからもの」の出だしの素晴らしいこと、アカペラの「赤い靴」の庄巻の歌声もつと聞きたくなりました。「歌よありがとう」の時間をいただけたことに感謝します。
(丸山浩子)

議会まめ知識 請願と陳情の違い

～ 請 願 ～

憲法に規定された基本的人権で、未成年者や外国人、法人なども含めたあらゆる人が、国や自治体の全ての事務について、要望の実現を求め請願を行うことができます。手続きは法律によって定められており、地方議会に対しての場合は地方自治法124条で「議員の紹介により請願書を提出しなければならない」とされています。

議会は、請願を採択した場合、執行機関(町村長など)に請願内容の実現を促したり、国の機関へ意見書を送付するなどして、請願者の要望実現に責任を負うことが求められます。

～ 陳 情 ～

紹介議員を必要としないことを除き、形式的にも内容上も請願に似ていますが、法律によって保障された権利ではなく、陳情を受けた議会側も回答や結果報告の義務はありません。

議長が特に必要と認めた場合、請願と同様の取り扱いとし、実質審査を行う場合がありますが、通常は議員に対し陳情書を示すにとどまることが多いです。





議長コラム

天竜川上流総合水防演習が開催される

天竜川上流域における洪水被害や大規模土砂災害に備えた水防演習が5月22日、飯田市川路地籍の天竜川河川敷を主会場にして行われました。演習は国土交通省中部地方整備局と長野県および南信地区28市町村が主催し、水防・消防・医療等の



関係者や子どもを含む一般市民など、700名近くが参加して実技訓練を行いました。朝9時から昼過ぎまで休みなく行われた演習は、土のう詰めから始まり、木を使った伝統的な水防工法や重機を使った防災作業、自衛隊による応急架橋や医療救護活動など60項目に及びました。

下條村消防団も土のう詰めを実演しましたが、見学者が注目するなかでの緊張感を伴う実技訓練は、貴重な経験になったと思います。また、会場には展示場も設置され、ドローンや多目的消防自動車の



などの車両、防災情報のパネル展示などによって最新情報を得ることができました。

町村議会からは議長が演習に見学者として参加しましたが、今回の視察で得た情報を安全・安心な村づくりに有効に活用していきたいと思えます。

飯田富山佐久間線整備促進期成同盟会を開催

主要地方道飯田富山佐久間線は県道1号線として飯田市から泰阜村、阿南町、天龍村を

経て浜松市天竜区佐久間町まで続いています。この沿道3町村に下條村と売木村を加えた5町村は、この路線の下伊那南部地区整備促進期成同盟会をつくり、未整備区間が多く災害が多発する道路の改良整備を求めて要望活動を行っていま

今年度の総会が5月24日に天龍村で開かれ、天龍村平岡ダム付近の改良や阿南町の南宮温泉下の橋梁化のほか、全線にわたる沿道樹木伐採の早期事業化などを発注機関に要望しました。下伊那南部5町村は



急峻な地形を通る道路が多く、災害や事故による交通障害が発生したときの迂回路は生命線とも言えます。地域住民が安心して生活できるよう、今後も発注機関に道路整備を強く要望してまいります。

編集後記

夏蕎麦の花の白が、遠くの赤石連山や傍らの青田の色と響きあい、梅雨の晴れ間の絶景を見せてくれています。すぐそばの麦秋の濃い黄色とのコントラストも絶妙なこと！しばらくその場を立ち去れないほどです。低温貯蔵設備が整いました。今年の蕎麦が豊かに実り、作り手の苦勞が報われることを願います。3年ぶりに、しもじよこの祭りが開催されるのも明るいニュースです。屋外でのマスク着用もだいぶ緩和されてきましたが、引き続き万全な予防措置をして、大勢の皆さんが集まり、賑やかな祭りにしたいものです。

相次ぐ物価高騰対策として、生活応援商品券、水道基本料金の減免、燃料・肥料・飼料の対策給付金などの補正予算が組まれました。少しでも明るい気持ちで暮らせることを願ってやみません。向日葵が大輪の花を咲かせる頃には、ウクライナに平和が戻ってほしい一切実な願いです。(丸山浩子)

編集委員会

- 委員長 串原 肇
- 副委員長 丸山 浩子
- 委員 串原 寛治
- 委員 福澤 利尚
- 委員 串原 稔博
- 委員 田中 兼次